

2024年9月4日

日本災害情報学会 会員各位

日本災害情報学会 「災害を描く」災害映画大賞

推薦作品の募集について

企画委員会

「災害を描く」ことの意義はおそらく、災害から空間や時間を隔てた非当事者に、当事者性を獲得する契機をもたらす点にあると言えます。「災害を描く」ことは「災害の伝承・継承」と呼ばれる行為の主要な部分をなしており、日本災害情報学会における重要なテーマのひとつでもあります。

描写の対象は自然現象 (hazard) のみならず災害 (disaster) の全容に及びます。また、その描写は、客観的な事実の記録 (non-fiction) のみに留まるものではありません。当事者と非当事者の隔たりを乗り越えるには、たとえ一時的であっても「当事者はこうだったかもしれない」という想像力 (fiction) を大きく駆動する描写であることが、より一層の大きな意味を持つものと思われま

す。多くの災害を経験し、それを乗り越えてもきた日本には、災害を描いた秀逸な作品が数多く存在します。これらをしっかりと伝承・継承していくことがいま我々に求められているといえます。しかしながら、「災害を描く」という観点からこれらの作品にフォーカスをあてて整理し位置づけようとする試みは、現時点でじゅうぶんに行われているとは言えません。

そこで日本災害情報学会では、学会設立 25 周年を迎える 2024 年をひとつの契機と捉え、過去 25 年間 (1999 年度～今年度) に公開された作品のなかから、災害を描いた優れた映像作品、とりわけ「現代を生きる我々の災害に対する理解の仕方を大きく更新してくれる可能性に富む作品」に対して、「日本災害情報学会『災害を描く』：災害映画大賞」を授与することとしました。

日本災害情報学会の会員のみなさまにおかれましては、「実施要綱」をご参照のうえ、優れた作品を是非、下記の【一次選考の推薦投稿フォーム】よりご推薦下さい。宜しくお願い申し上げます。

【一次選考の推薦投稿フォーム】

<https://forms.gle/7XsxE2oFJ5Vn7NQ6>

※投稿者は日本災害情報学会の会員に限ります。

※ひとつの推薦フォームで1作品の推薦です。ひとりにつき別作品を何作品でも推薦可能です。

※投稿に際しては「推薦文 (300 字以内)」をご用意ください

※投稿期日は「2024年9月30日 23:59 まで」とします。

日本災害情報学会 「災害を描く」災害映画大賞 実施要綱

【対象作品】

1999年4月1日から一次選考の投票締切日までに劇場・配信・テレビ等にて公開された40分以上のオリジナル映像作品で、選考作業時に選考委員が視聴可能な作品。災害を描いた邦画作品であることが条件。実写／アニメーション、フィクション／ノンフィクション、を問わない。

【選考方法】

- (1) (一次選考) 日本災害情報学会の会員からフォームにて推薦作品を募る。推薦投稿期日は2024年9月30日まで。自薦／他薦は問わない。推薦にあたっては推薦文(300字以内)を添える。寄せられた推薦文を後日に学会WEBサイト・学会誌・書籍などへ掲載することの可否を選択可(本名記載の可否も選択可)。ここで寄せられた推薦作品について選考委員会で協議を行い、一次選考作品を選出する。
- (2) (二次選考) 2024年度の日本災害情報学会の秋大会において、一次選考作品の発表、ならびに一次選考作品に対する日本災害情報学会の会員からの投票を募る。投票期日は2024年度秋大会の開催日から11月末日までを予定。投票結果に基づき選考委員会で協議を行い、ノミネート作品を選出する。
- (3) (最終選考) 選考委員会によりノミネート作品を視聴し、協議の上で大賞を決定する。大賞は1作品(または2作品)。受賞作なしもあり得る。
- (4) (表彰) 2024年度の日本災害情報学会の春大会において、大賞を受賞した作品の主要関係者を招き、表彰を行うとともに、記念講演・記念インタビュー・記念対談・記念パネルディスカッション・他のいずれか(またはそのいくつか)を行う。
- (5) (公開) 上記(4)の催しの記録をベースとして、(必要に応じてそこに推薦者から寄せられた推薦文や学会員による数編の論評を加えるなどしたうえで)学会WEBサイト掲載・学会誌掲載・書籍化などの方法による公開を検討する。

【選考委員】

岩田孝二(会長、静岡大学)
大牟田智佐子(理事、(株)毎日放送)
秦 康範(企画委員会 委員長、日本大学)
及川 康(企画委員会 副委員長、東洋大学)
永松伸吾(企画委員会 副委員長、関西大学)
木戸崇之(企画委員会 幹事、(株)エービーシー・リブラ)
関谷直也(企画委員会 委員、東京大学)
高原耕平(企画委員会 委員、国土技術政策総合研究所)
半井小絵(企画委員会 委員、NPO火山防災推進機構)
安本真也(二十五周年記念事業小委員会 委員長、東京大学)

以上